

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	新型インフルエンザ等対策事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課	新型インフルエンザ等対策事業		款	4	新規or継続	継続事業	
	係	感染症対策係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	3131	名称	新型インフルエンザ等対策特別措置法	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	平成20年	実施方法	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		期間	終了年度	—	直営	
	施策	3	感染症対策の推進					その他内部事務事業	
	基本事業	1	感染症対策の徹底						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	新型インフルエンザ等の発生による健康被害とそれに伴う社会的影響を想定した行動計画に基づいて、対策を整備するととも、業務継続を行う職員等への感染を防ぐために、防護服等を購入備蓄する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	・業務継続を行う市職員等を感染から守る。 ・業務継続を行う職員等への感染を防ぐために、防護服等必要な物資の備蓄を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		防護服備蓄数	セット	13,200	13,200	13,200	13,200	10,800
		防護服着脱訓練の参加者数	人	50	50	50	50	50

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえて、2月に市職員を対象に防護服着脱訓練を実施した。 また、防護服セット1,650セット購入し、備蓄し、耐用年数を超過した防護服セットを1,650セット廃棄した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		防護服購入数	セット	1,400	1,600	1,650		
		防護服着脱訓練開催回数	回	2	2	2		
		防護服着脱訓練参加者数	人	48	43	43		
		事業費計	千円	4,323	3,986	5,215		
		一般財源	千円	4,323	3,986	5,215		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	・目標の防護服備蓄数を達成することができた。 ・防護服着脱訓練の参加者が目標を下回ってしまった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		防護服備蓄数	セット	12,362	14,150	14,150	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		防護服着脱訓練の参加者数	人	48	43	43	値が大きいほど良い	効果は変わらない

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			費用	効果		
			効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
			効果は変わらない指標数	2指標			費用は下がった		
			効果が下がった指標数	0指標			費用の増減無し		
			指標全体	効果は変わらない			費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

防護服着脱訓練の参加者数が、減ってきてている。 令和7年度は、新型インフルエンザ等対策行動計画等の改定がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明		
	・令和7年度に、新型インフルエンザ等対策行動計画等を改定する。	・計画的に防護服を購入する。	・令和7年度から、「新型コロナウイルス感染症等対策事業」と統合し、感染症対策の周知を行っていく。
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討			
□ 事業費の見直し検討			
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討			
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）			

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	新型コロナウイルス感染症等対策事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	A-②	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課	新型コロナウイルス感染症等対策事業		款	4	新規or継続	継続事業	
	係	感染症対策係			項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	3131	名称	新型インフルエンザ等対策特別措置法、佐野市新型コロナウイルス感染症対策本部設置要綱	目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	令和2年	実施方法	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり			終了年度	令和6年	事業分類	
	施策	3	感染症対策の推進					その他市民に対する事業	
	基本事業	1	感染症対策の徹底						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、感染予防の対策を行う。 感染予防の啓発や情報発信を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	市民に対して、感染症拡大防止の徹底を図るとともに集団感染の発生を防ぎ、感染防止対策の徹底を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	100	100	100	100	100

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 7月に新型コロナウイルス感染症予防に関するポスターを作成し、市有施設に掲示した。また、市のホームページ、X、LINE、さのまる健康アプリ、デジタルサイネージへ掲載し、市民への周知を図った。 11月に佐野市健康まつりにて、感染症対策に関するリーフレットを配布した。 	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		感染症予防啓発の媒体数	件	14	5	7		
		対策本部会議開催数	回	11	1	0		
		事業費計	千円	65,347	4,505	221		
		一般財源	千円	0	0	1		
		特定財源（国・県・他）	千円	65,347	4,505	220		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	令和5年度と比べて、8月、9月の感染者数が、減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	95.8	91.4	87.7	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 1指標 指標全体 効果が下がった	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	95.8	91.4	87.7	値が大きいほど良い	効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 1指標 指標全体 効果が下がった	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		感染症対策に取り組む市民の割合	%	95.8	91.4	87.7	値が大きいほど良い	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度に新型インフルエンザ等対策事業と統合になるが、引き続き、感染症対策について周知していかなければならない。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
令和7年度に新型インフルエンザ等対策事業と統合し、感染症対策の周知を行っていく。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	任意予防接種事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-⑨	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課	任意予防接種事業		款	4	新規or継続	継続事業	
	係	感染症対策係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	3132	名称	予防接種法、佐野市任意予防接種費用助成要綱	目	2	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	令和3年	実施方法	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		期間	終了年度	—	一部委託	
	施策	3	感染症対策の推進					事業分類	
	基本事業	2	感染症対応体制の充実					健診・予防事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	予防接種法に定める定期予防接種以外の予防接種を、市が行政措置として実施する。 インフルエンザ、おたふく、帯状疱疹、再接種に費用の一部を助成。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	予防接種の費用を助成し、より多くの方が接種することで、個人の発病又は重症化を防止し、そのまん延を防止する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		インフルエンザ予防接種助成数	人	8,000	7,900	7,800	7,700	7,600
		おたふくかぜ予防接種助成数	人	—	—	—	2,000	1,900
		帯状疱疹予防接種助成数	人	—	—	—	2,000	1,900

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・対象人数：インフルエンザ12,116人、おたふくかぜ4,035人、帯状疱疹61,268人 ・事業実施期間：おたふくかぜ、帯状疱疹については令和6年4月開始。インフルエンザについては令和6年10月開始 ・周知活動：広報紙、ホームページ、LINE、母子健康手帳アプリ	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		インフルエンザ実施医療機関数	箇所	47	54	53		
		おたふくかぜ実施医療機関数	箇所	—	—	21		
		帯状疱疹実施医療機関数	箇所	—	—	52		
		事業費計	千円	17,162	15,794	41,090		
		一般財源	千円	0	1,817	4,025		
		特定財源（国・県・他）	千円	17,162	13,977	37,065		
		（うち受益者負担）	千円					

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	接種率は、インフルエンザ33.0%、おたふくかぜ29.2%、帯状疱疹1.7%であった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		インフルエンザ予防接種助成数	人	7,843	6,986	6,679	値が大きいほど良い	効果が下がった
		おたふくかぜ予防接種助成数	人	—	—	1,178	値が大きいほど良い	
		帯状疱疹予防接種助成数	人	—	—	1,933	値が大きいほど良い	

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった	
		効果は変わらない指標数	0指標				効果は変わらない	
		効果が下がった指標数	1指標				効果が下がった	
		指標全体	効果が下がった					

（5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	※ 10万円以上の増減により判断	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
		費用が上がった					
		費用の増減無し					
		費用が増加した				○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

帯状疱疹が令和7年度より定期接種化される。任意接種も継続することから、年齢をわかりやすく周知していく必要がある。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
引き続き、広報紙、市ホームページ、LINE、XなどのSNSを利用し、日頃の感染予防対策に関する情報を発信していく。また、予防接種助成の情報発信も行っていく。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	定期予防接種事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	健康増進課	定期予防接種事業		款	4	新規or継続	継続事業	
	係	感染症対策係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	3132	名称	予防接種法、佐野市定期予防接種費用助成要綱	目	2	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	昭和23年	実施方法	
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		期間	終了年度	—	一部委託	
	施策	3	感染症対策の推進					事業分類	
	基本事業	2	感染症対応体制の充実					健診・予防事業	

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	予防接種法に基づく定期予防接種の実施 接種方法：市内医療機関での個別接種
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	市民が、感染の恐れのある疾病に対して免疫の効果をつけるワクチンを接種し、感染症の発生及び蔓延を予防する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		1歳児（MR）の接種率	%	95	95	95	95	95
		年長児（MR）の接種率	%	95	95	95	95	95
		高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	61.1	56.5	57.0	57.5	58.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種対象者へ接種勧奨通知の発送（MR2期、DT、日本脳炎、子宮頸がん予防ワクチン、高齢者肺炎球菌） 定期予防接種未接種者への接種勧奨通知の発送（MR1期、2期、日本脳炎特例対象者、日本脳炎2期） 学校の長期休暇前に個別通知を発送し、就学前健康診断時には接種案内を配布を行った。（各学校へ依頼） 乳児全戸訪問時に予診票と予防接種の冊子を配布した。（子ども課へ依頼） 周知活動：広報紙、ホームページ、LINE、母子健康手帳アプリへの掲載 	活動指標	単位	R4	R5	R6
		MR実施医療機関数（市内）	箇所	40	39	29
		高齢者インフルエンザ実施医療機関数（市内）	箇所	47	67	78
		事業費計	千円	286,421	296,751	378,694
		一般財源	千円	285,205	295,717	337,311
		特定財源（国・県・他）	千円	1,216	1,034	41,383
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	MR1期、MR2期ともに接種率は90%以上、高齢者インフルエンザは50%以上の接種率となっている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		1歳児（MR）の接種率	%	92.7	96.2	96.6	値が大きいほど良い 効果が上がった
		年長児（MR）の接種率	%	93.5	92.5	90.8	値が大きいほど良い 効果が下がった
		高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	56.7	53.2	50.0	値が大きいほど良い 効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	MR1期、MR2期ともに接種率は90%以上、高齢者インフルエンザは50%以上の接種率となっている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		1歳児（MR）の接種率	%	92.7	96.2	96.6	値が大きいほど良い 効果が上がった
		年長児（MR）の接種率	%	93.5	92.5	90.8	値が大きいほど良い 効果が下がった
		高齢者インフルエンザ予防接種接種率	%	56.7	53.2	50.0	値が大きいほど良い 効果が下がった

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用 (R6とR5の 指標値増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	R5とR6の比較
				費用は下がった			
				費用の増減無し			
				費用が増加した			
				○			

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年4月から帯状疱疹予防接種が定期予防接種となり、子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種の延長、MR1・2と風しん5期の予防接種が2年間延長となるので、市民へ周知し、接種率向上に努める。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	引き続き、広報紙、市ホームページ、LINE、XなどのSNSを利用して、予防接種に関する情報を発信していく。	R5とR6の比較

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	健康医療部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	健康増進課	新型コロナウイルス予防接種		款	4	新規or継続	継続事業
	係	感染症対策係	健康被害給付事業		項	1	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	3132	名称	予防接種法	目	2	義務or任意	義務的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業 期間	開始年度 終了年度	令和6年 —	実施方法 事業分類
	政策	1	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり					直営
	施策	3	感染症対策の推進					現金等給付事業
	基本事業	2	感染症対応体制の充実					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	特例臨時接種の新型コロナウイルス予防接種を受けたことにより健康被害が生じたと厚生労働大臣が認めた者について、予防接種法に基づき、救済給付を市が行う。 救済給付に係る費用は、国が全額負担する。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	特例臨時接種で行われた新型コロナウイルス予防接種を受けたことによって、健康被害が生じたと厚生労働大臣が認定した方に、認定された病名が治癒するまで給付金を支払う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		給付者数	人	—	—	—	5	2

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	厚生労働大臣が認定した5名の救済給付を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		給付金支払い回数	回	—	—	9		
		事業費計	千円	0	0	48,119		
		一般財源	千円			142		
		特定財源（国・県・他）	千円			47,977		
		(うち受益者負担)	千円			0		

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	厚生労働大臣が認定した5名の救済給付を行った。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		給付者数	人	—	—	5	値が小さいほど良い	#VALUE!

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
		効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
		0指標						
		効果は変わらない指標数						
		0指標						
		効果が下がった指標数						
		0指標						
		指標全体		効果は変わらない				

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

4. 次年度に向けた検討

（1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

厚生労働大臣が認定した5名のうち、2名が治療継続中のため、引き続き申請があれば速やかに救済給付を行い、国に負担金の申請をする。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討
	特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）